

我が学びや

令和6年4月26日
白川小 学校便り No.2

文責:校長 村上剛史

◆1年生を迎える会・歓迎遠足

受け継がれていく“白川っ子のよき伝統” ～1年生をしっかりと可愛がる6年生 6年生の姿を真似していく下級生～

4月17日(水)、迎える会と遠足を通して、全校児童の育ちを感じました。最上級生としての自覚をもち、リーダーとしてふさわしい行動をしようと精一杯頑張る6年生。6年生を見て、よい行動を真似しようとする下級生。6年生のサポートを頑張る5年生たち。遠足の集合前には、落ちていた輪ゴムや小さな紙きれなどを隈なく見つけて拾い、「来た時よりも美しく」しようとする2年生。ペアの5・6年生に迷惑をかけないように頑張る1年生。我慢することを経験することができました。

「見ること」と「見られること」で、無言の学び合いが生まれ、子どもどうしによる「無言の心の教育」がありました。



大きな拍手の中、ペアの6年生に手を引かれながら、はずかしそうに入場する1年生



ジャンボリミッキーで、会場の空気が一変！



5・6年生と1年生。
お互いに顔を見ながら、ペアでお弁当



1年生が楽しみにしていた全校貨物列車

◆白川小の宝～立ち止まり挨拶～

お気づきでしょうか。本校の児童の多くは、立ち止まって挨拶しています。本人たちには、当たり前と捉えているかもしれませんが、白川っ子ならではの“誇らしい所作”です。真似をする1年生もいました。広がり、受け継がれていってほしいものです。